



岩国市立そお小学校

そお小だより

令和6年度
9月号



【学校教育目標】ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成（周東中学校区共通）

ふるさと「祖生」・・・を感じながら、実りある2学期に！

台風による臨時休業を含めると、44日間の夏休みを終え、2学期がスタートしました。久しぶりに顔を合わせた子どもたちは、見た目にも背が伸びたり顔つきがちょっぴり大人になったりと、成長を感じています。

この夏は、パリオリンピックが開催され、日本選手の活躍に目が離せなかった方もおられるのではないのでしょうか。山口県民栄誉賞特別賞を受賞した加納虹輝選手が、インタビューの中で「(試合の時)高校の先生達がパブリックビューイング(岩国)で応援してくださっていて、負けたら申し訳ないと思った。それが負けたくないと思った一番の理由です。」と語っていました。世界で活躍する選手も、地元の方に支えられていることがとても大きな原動力になっています。

さて、地域の方々からの支えといえば、本校の児童もそれを日々感じながら生活を送っています。7月に行った児童のアンケートでは「地域の人との交流やいろいろな地域活動に参加している」が89%、「地域のために役に立ちたい」が95%と、地域の方々との関わりは生活の中で当たり前のことであり、地域の一員としての役割を果たしたいという思いが伝わってきます。ただ、「地域や家庭・地域の人に頼りにされていると思う」が75%と、やや低い結果となっています。

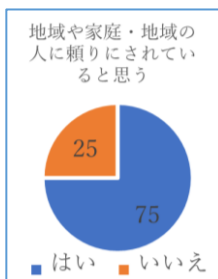
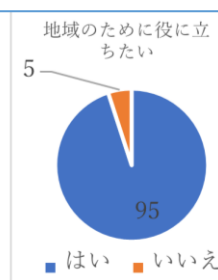
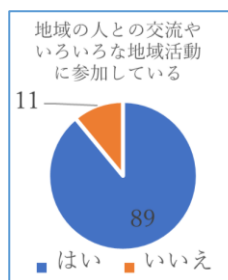
このことは、子どもたちが「何ができるのかな?」「どのようにしたら役に立つのかな?」という思いをもっていることがうかがえます。

そこで、この結果を踏まえ、今後の学校・地域連携教育活動では、地域貢献に目を向け、児童主体で発信型の活動にも積極的に取り組む必要があると考えました。28日(水)の第3回学校運営協議会では、学校運営協議会委員の方々と教職員とで「地域貢献～子どもたちが地域のためにできること」をテーマに、意見交換(熟議)を行いました。大人目線で「子ども達にできる地域貢献とは」について地域の方、保護者、教職員、それぞれが意見を出し合いました。会の後半、いわくに地域連携教育アドバイザーの大上好久様から「子どもも大人も楽しいと思えるものなら続く」「子ども達のよさをいかし課題を取り入れた活動は何かを考えると良い」と、ご助言をいただきました。

年度の中で一番長い2学期。『ふるさと「祖生」のために役立ちたい』という思いを大切に、実りある2学期になるよう教職員一同、一丸となって取り組んで参りたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



そお小学校
ホームページ



育友会からのお知らせ・お願い

「小学校創立150周年記念事業」に係る 寄付のお願い

平素より児童の健全育成についてご理解・ご協力いただきありがとうございます。今年で祖生地区に小学校が開校し、150年になります。

そこで、150周年記念事業として、そお小学校運動場にて人文字をつくり、空から写真撮影を行うため、育友会に寄付を募っております。

つきましては、本事業についてご賛同いただける方は、ご寄付のご協力をよろしくお願いいたします。

撮影について

撮影日：11月9日(土)

そお小学校三代目ふれあいフェスタ
参加者：そお小学校児童・保護者・
地域の方(参加可能な方)

募金について

募金場所：そお小学校

募金期間：8月～9月末の平日

8:00～17:00